



## 生涯学習ネットワークシステム整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等		政策 [ ]			<input type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数		1 年		
[ ] 教育振興基本計画												
[事業目的]												
福井県内の生涯学習に関する情報を広く提供し、学びの向上に役立てるホームページを構築する。												
[事業内容]												
<p>○豊富な情報、多様な検索方法を支える強固なシステム基盤（サーバ）や、不正アクセスなどからシステムを守る強固なコンピュータセキュリティサービスの導入。</p> <p>○文字情報だけでなく動画ページなどの追加による親しみやすいホームページの実現。</p> <p>○トップページの情報量を増やし、容易に検索がかけられる機能を向上させ閲覧者の利便性の向上。</p> <p>○情報の入力やデータ管理における作業量の軽減。</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						4,725						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	アクセス数 (目標)						(300,000)	(500,000)				
	実績					システム構築						
活動指標	情報登録数 (目標)						(1,500)	(1,800)				
	実績					システム構築						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	4,725				4,725	事業実施方法	直営					
						補助率						

# 事業評価

事業名	生涯学習ネットワークシステム整備事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章	
[事業の必要性・要求の背景]								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の生涯学習情報ネットワークシステムは平成19年に作成。</li> <li>・現在のサーバ環境では、十分な情報量を発信することが困難である。また、セキュリティ面においても万全ではなく、現在システム停止中である。</li> <li>・ウェブデザインの拡張できる幅が小さく、トップページから得られる情報が限られている。また、検索機能が弱く、複数条件検索ができず、利便性にかける。</li> <li>・講師等の情報を台帳データからシステムに一括でアップロードする際にエラーが生じやすく、原因の判別も困難である。</li> </ul>								
[受益者] 福井県民（小学生以上）				[想定される受益者数] 約745,000人				
他県の状況	<p>石川県の「あいあいネット」（H26年度アクセス数約48,000件）、富山県の「とやま学遊ネット」（H26年度アクセス数約700,000件）など、多くの県で生涯学習情報を提供している。福井県の現システムも含め、どの県もほぼ同じような基準で検索することができるが、富山県の「とやま学遊ネット」では、情報量が多いうえに、1つ1つの情報が詳細である。また、最近再構築された山形県の「やまがたマナビネット」のように民間のカルチャースクール等との連携によって、さらに多くの生涯学習情報を提供している県もいくつか見られる。</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      生涯学習情報ネットワークシステム （実績）  平成19年に現システムを構築し、9年目を迎える。登録数は講座803件、講師275件（※平成26年度）、アクセス数は280,378件（※平成26年度）である。現在、セキュリティ面が万全でないため、政策統計・情報課の指導により、システム休止中である。					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      おでかけふくい（県HP～政策統計・情報課） （役割分担）  「おでかけふくい」では特に県内で開催されるイベントの情報を掲載している。本システムは県内における生涯学習情報の集約を目指している。また、生涯学習情報の一部も『おでかけふくい』に掲載している。	市町との連携状況	年に1回、担当者研修会を実施し、システムの使い方を確認したり、情報の提供を呼びかけたりするとともに、パスワードの交付もしている。市町の講座等の情報が多く掲載されることで、県内の生涯学習情報がより中身の濃いものになる。					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## こども歴史文化館特別展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺 利章	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な県政 政策 [国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H21 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]									
[事業目的]												
魅力的な展覧会を開催し、ふくい歴史、文化を全国に発信します。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力的な展示資料の確保</li> <li>○展示の充実 資料を魅せるための展示方法の工夫</li> <li>○ポスター、チラシ、広告を用いた広報活動</li> <li>○展示案内活動</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		5,508	7,827	7,929	8,219	10,849	10,849	10,849	特別展示室の開設に伴う資料借受の際の通信運搬費の増			
2月現計予算額の推移		5,508	7,827	7,929	8,209							
決算額の推移		5,325	7,710	7,779								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来館者数	(目標)	(30,000)	(30,000)	(50,000)	(54,000)				平成31年度までに6万人を目指す		
		実績	36,364	51,753	53,259							
活動指標	特別展開催回数	(目標)	(3)	(3)	(3)	(3)						
		実績	7	6	6							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	10,849			(諸) 274	10,575	事業実施方法		直営				
						補助率						

# 事業評価

事業名	こども歴史文化館特別展開催事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺 利章
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>通常、博物館では常設展、特別展を開催することにより、日ごろの調査研究活動、資料収集活動の成果を県民に還元している。また、いつ行っても同じものが見られる常設展は何度も見たいという来館動機が次第に薄れてしまうが、テーマを変えて定期的に特別展を開催することにより、再来性を高めることができる。したがって年数回特別展を開催することは、当館の来館者数を確保するためにも必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
一般来館者							
他県の状況	—	前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名		
				(実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況		事業名 (役割分担)	収蔵資料の相互貸借による協力。 勝山市のはたや記念館ゆめおーれ勝山とは、特別展を共催する。(平成27年度)		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
(特別展) ・楽本展 (H27. 4. 25～H27. 6. 7) ・妖怪百物語 (H27. 7. 18～H27. 9. 6) ・地球のキセキ (H27. 10. 17～H27. 11. 29) ・明治のパイオニアスピリット (H27. 12. 19～H28. 2. 21)		—		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 文化財指定促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な県政 ] 政策 [ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]			事業 区 分	■ 国庫 ■ 県単 □ その他	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]									
[事業目的]												
本県の長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた県民の財産である文化財の保存を図るとともに、地域づくりや観光への活用を図るため、文化財の国指定等を推進する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定候補文化財の調査 (小浜放生祭・大音家文書・大般若経・三方石観音の御手足・海女文化・大滝地区文化財ほか)</li> <li>○文化庁調査官の招聘</li> <li>○文化財調査特別顧問の配置</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					13,916	20,755	20,755	20,755	大音家文書の本格調査着手等に伴う増			
2月現計予算額の推移				725	8,567							
決算額の推移				426								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新指定文化財の件数	(目標)		(10)	(10)	(10)	(10)	(10)				
		実績		10								
活動指標	文化財調査件数	(目標)										
		実績		35								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	20,755	7,269			13,486	事業実施方法		直営				
						補助率						

## 事業評価

事業名	文化財指定促進事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章
[事業の必要性・要求の背景]							
舞鶴若狭自動車道の全線開通、26年度末の新幹線金沢開業など、高速交通体系の整備が進んでいることから、本県の新たな観光振興・地域づくりに文化財を活用するため、その核となる文化財の国指定等を推進する。今後、観光活用等の格となる文化財の指定を加速化するための調査を実施する。特に、これまで経費が掛かるため手が付けられなかった文化財の調査を集中的に行い、31年度末までに15件の国指定、35件の県指定を目指す。							
[受益者数] 一般県民				[想定される受益者数]			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)	市町との連携状況	市町職員も調査に関わってもらう。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
民俗や古文書の事前調査に着手するとともに、名勝分野においては「おくのほそ道の風景地（気比神宮）」の測量調査を実施。		—		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 福井の文化財緊急修理事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財	課長名	渡辺 利章
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠 ビジョン	[ 元気な県政 ]			事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H31 年度	
関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]											
歴史的魅力にあふれた文化財群を修理・整備することにより、福井県の魅力発信する手段として活用する。											
[事業内容]											
<p>文化財活用には修理・整備が不可欠であるが、指定の迅速化の一方、修理・整備が取り残され、修理に着手できない文化財が数多く存在する。そのため、重要文化財に指定されているなど、福井を代表する文化財のうち、崩壊の危機など緊急性の高いものにかかる修理事業を支援する。</p> <p>以下の4件については、福井の文化財として文化財群の構成に欠くことのできないものであり、崩壊の危険性や安全な環境での公開が危ぶまれるなど、緊急に対応する必要があり、文化庁の指導のもと長期的な修理事業を行っていく。</p> <p>(H27年度より着手事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○柴田氏庭園 : 「北陸道と北前航路」・・・庭園の荒廃、書院・居宅は崩壊の危機</li> <li>○旧木下家住宅 : 「里地里山」・・・崩壊の危機</li> </ul> <p>(今後の修理予定物件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大安寺 : 「禅宗の展開」・・・不同沈下による建物の傾斜と経年劣化</li> <li>○西福寺御影堂 : 「北陸道と北前航路」・・・崩壊の危機</li> </ul>											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					5,500	34,007	34,007	34,007	H27年度は実施設計や測量調査等が主であり、H28年度より本工事にかかるため、事業費が大きくなっている。		
2月現計予算額の推移					4,803						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								文化財は「文化財保護法」に基づいて、適切な保存・活用を図ることが重要である。指定文化財については、国の補助制度等を利用しながら保存・活用を図り、観光振興などに活用する。		
活動指標	補助金の交付件数 (目標) 実績										
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		各市町			
予算額	34,007				34,007	事業実施方法		補助			
						補助率		事業費の1/6			

# 事業評価

事業名	福井の文化財緊急修理事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財	課長名	渡辺 利章	
[事業の必要性・要求の背景]								
文化財の活用には修理・整備が不可欠であるが、財政面の問題から修理を先延ばしにしてきたがために、崩壊など文化財そのものの存続危機があるものが数多く存在する。歴史的魅力にあふれた文化財群を観光振興など地域活性化に活用するためには、文化財の修理・整備事業を計画的に進める必要がある。								
[受益者] 一般県民				[想定される受益者数]				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)			市町との連携状況	県が文化庁との連絡調整を行い、市町の事業を支援			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
柴田氏庭園、旧木下家住宅は平成27年度に事業を着手した。複数年における事業であるため、平成27年度は設計監理委託や測量調査の委託等が主であり、平成28年度から本格的に解体・修理が行われる。		—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## ふくいの文化財魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ 元気な県政 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H31 年度
関連する県の計画等		政策	[ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
<p>[ 事業目的 ]</p> <p>県内の多くの優れた文化財や文化遺産をより広く一般の方々に知ってもらうために、多様な方法で情報を県内外に発信する。</p>												
<p>[ 事業内容 ]</p> <p>○県のHP上に文化財に関する情報発信コーナーを設け、県内の魅力的な文化財、文化遺産等を紹介していく。</p> <p>○無形民俗文化財の公開事業・・・「ふくい民俗芸能の祭典-芸能の継承者たち-」（仮称）の開催（1,153千円）          ・会場：県内の文化ホールなど ・出演：県内の無形民俗文化財の保存会4団体</p> <p>○指定等文化財の公開支援事業（800千円）          ・国・県により指定・選定・選択・登録された有形・無形の文化財の公開に向けた文化財管理者の事業に対する補助（800千円）          補助率：補助対象事業費の1/2以内（1件当たり上限200千円）          【条件】①個別文化財の公開支援については、文化財ウィーク期間中に公開事業に参加すること。</p> <p>①個別文化財の公開支援          補助事業者 文化財管理者（民間・市町）          補助対象事業 ・文化財の公開に向けたポスター、案内チラシ等の作成          ・文化財の内容や価値を説明する看板やパネル、パンフレット等の作成</p> <p>②地域の文化財の公開支援          補助事業者 市町・文化財管理者（所有者）          補助対象事業 地域内の文化財をわかりやすく紹介した広域パンフレット・マップ等の作成</p>												
[ 予算額の推移等 ] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					2,040	1,953						
2月現計予算額の推移					2,040							
決算額の推移												
[ 成果指標等の推移 ]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	文化財HPアクセス数 (目標)				(60,000)	(60,000)	(60,000)	(60,000)				
	実績											
活動指標	文化財公開事業への助成件数 (目標)											
	実績											
[ 財源内訳・事業主体等 ]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	1,953				1,953	事業実施方法		直営				
						補助率						

## 事業評価

事業名	ふくい文化財魅力発信事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>○これまで、県・国指定文化財については、県のHP等でその価値を伝えてきたが、県民にとって身近な文化財である市町指定文化財や未指定の文化遺産に関しては、県においては周知してこなかった。</p> <p>○福井の文化財や伝統文化を継承していくためには、若い世代に、ふるさと福井の文化財に対する関心を持ってもらうことが必要である。</p> <p>○民俗芸能大会への来訪者は、高齢者層が大半を占める。幅広い世代に民俗芸能を知ってもらうためには、家族連れで気軽に参加できるイベントとする必要がある。</p>							
[受益者数]				[想定される受益者数]			
一般県民							
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ふるさとの文化財公開推進事業 (実績)  民俗芸能大会の開催や文化財公開支援補助を行うとともに、パンフレット等により文化財をPR				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	市町が実施する文化財公開等の周知を支援				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
市町の文化財公開支援やホームページによる文化財のPRを実施		民俗芸能大会における出演団体数の見直し		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 87
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 丸岡城国宝化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な県政 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金			
			[ 教育振興基本計画 ]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]											
我が国に現存する12天守のうち最古の天守を持つ丸岡城について、建築史の調査等を実施することで、国宝指定を推進し、その歴史的価値を高めて、より一層の観光振興や地域の活性化を図る。											
[事業内容]											
丸岡城天守の建築年代や建築史上の特徴を明らかにするため、県と坂井市が連携して調査等を行う。 ○調査研究委員会の設置、科学的年代測定調査実施等 ・建築史や建造物等の専門家からなる調査研究委員会の設置、運営 ・建築時期特定のための科学的年代測定調査の実施 ・放射性炭素年代測定を実施 ・建築史上の意義を明らかにするため古文書や全国の城郭等建造物比較調査等の実施											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					1,874	3,000	1,350	600			
2月現計予算額の推移					1,874						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	(目標) 実績								建築年代や建築史上の特徴を明らかにし、国宝指定を目指す		
活動指標	調査研究委員会開催回数 (目標) 実績				(2) 2						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	坂井市				
予算額	3,000				3,000	事業実施方法	補助				
						補助率	県1/2				

# 事業評価

事業名	丸岡城国宝化推進事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章
[事業の必要性・要求の背景]							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸岡城の国宝化を目指した本格的な学術調査の実施し、新たな知見が得られることにより、新たな観光振興や地域づくりに活用できる。</li> </ul>							
[受益者] 一般県民				[想定される受益者数]			
他県の状況	<b>【松江城】</b> ・平成22年2月「松江城国宝化推進室」設置 ・平成22年7月第1回「松江城調査研究委員会」開催 ・平成22年7月～ 学術調査実施 ・平成27年5月 文化庁文化審議会答申 ・平成27年7月 松江城国宝指定	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	坂井市が行う丸岡城の調査に対して、県が支援。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射性炭素年代測定の実施（丸岡城歴史資料館内の木製品）</li> <li>・昭和解体修理時資料の調査</li> <li>・柱材の測量調査および擦本調査</li> </ul>		—		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財	課長名	渡辺 利章
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ 元気な県政 ] 政策 [ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 S42 年度 経過年数 50 年	事業終了 予定年度 H31 年度	
関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]								
[事業目的]											
全国的にもまれな規模と内容をもつ戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡は、「朝倉氏遺跡研究協議会」の指導のもと、その価値を高めるために発掘調査および環境整備を実施し、福井県民をはじめ全国から訪れる見学者のために、生きた歴史教育・生涯学習の場として活用される史跡公園の整備を目指す。											
[事業内容]											
「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘・整備基本計画」に基づき、発掘調査および環境整備等をおこなう。											
○発掘調査事業（38,150千円）・・・学術的な発掘調査を実施し、戦国城下町の人々の生活様式等を解明する。											
○復原整備事業（14,522千円）・・・発掘調査成果を受けて、検出した遺構の保存を行いながら、当時の様子を復原する。 (復原箇所：西山光照寺地区 2,500㎡)											
○重要文化財保存修理事業（5,947千円）・・・朝倉氏遺跡出土の重要文化財の保存処理を行う。											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		54,838	59,887	46,538	54,345	58,619					
2月現計予算額の推移		50,160	58,362	46,999	35,009						
決算額の推移		49,783	55,806	43,284							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数 (目標)				(740,000)	(790,000)	(840,000)	(890,000)	平成32年度までに100万人を目指す		
	実績	721,100	670,200	687,200							
活動指標	発掘・復原面積 (目標)										
	実績	4,800	4,560	450							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	58,619	28,490	3,000		27,129	事業実施方法	直営				
						補助率					

# 事業評価

事業名	一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財	課長名	渡辺 利章	
[事業の必要性・要求の背景]								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本を代表する戦国時代の城下町として発掘調査を行い、それに基づいた整備を行う。</li> <li>・ 整備された一乗谷を訪れる見学者に、遺跡博物館として「生きた歴史体験場」を提供し、郷土や日本の歴史認識の一助とする。</li> <li>・ 福井市街からほど近く自然環境も優れていることから、遺跡保存を前提に観光や公園として県民に憩いの場を提供する。</li> </ul>								
[受益者] 一般県民				[想定される受益者数]				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)			市町との連携状況	発掘・環境整備は県が実施し、福井市が管理を行う			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・ 西山光照寺跡整備工事		—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 埋蔵文化財調査センター移転整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 政推枠	ビジョン [ ] 政策 [ ]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ ]									
[事業目的]												
春江工業高校跡地へ移転する自治研修所施設を活用し、現埋蔵文化財調査センター、こども歴史文化館等に分散して収蔵している出土遺物を集約化する。												
[事業内容]												
センター本部（一乗谷朝倉氏遺跡資料館と併設）と城東収蔵庫（こども歴史文化館内）等に収蔵している出土遺物および事務所・遺物整理作業機能を自治研修所跡地へ移転して、1箇所に集約する。												
○自治研修所（管理棟・宿泊棟） → 収蔵庫として活用 ○自治研修所（研修棟） → 事務所・遺物整理作業場として活用												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						1,473	32,950	27,362				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								平成31年度までに移転整備を完了する			
活動指標	(目標) 実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,473				1,473	事業実施方法	直営					
						補助率	国1/2					

# 事業評価

事業名	埋蔵文化財調査センター移転整備事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章
[事業の必要性・要求の背景]							
発掘調査に伴って出土した遺物を保管する収蔵スペースが不足しつつあり、また、職員等においても勤務場所が分散している。遺物収蔵庫および職員等を一か所に集約することにより、遺物の適正管理や作業の効率化を図る。							
[受益者] 一般県民				[想定される受益者数]			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況	—			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 良書学校巡回子ども読書推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
		政策 [ 福井から人材育成 ]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数				
関連する県の計画等		[ 教育振興基本計画 ]			<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他	1 年				
[事業目的]												
司書や教師が勧める良書を学校に巡回させ、一冊を読み通す授業を導入することにより、学校、図書館、家庭が一体となった県民の読書活動を推進し、読書の好きな児童生徒を育成する。												
[事業内容]												
1 学校への良書巡回貸出 ○教師と司書が選んだ「良書」を整備し、県内全小中学校へ巡回貸出 ・選書：学校と県立図書館が協力し、小中学校の児童生徒に読ませたい良書を学年ごとに10作品選定 10作品の良書から、県内5ブロックにおいて、学年ごとに巡回させる2作品を選定 ・巡回：県立図書館で図書を整備し、県内全小中学校を20エリアに分けクラス単位で巡回貸出（各クラス2週間） 12,960冊（36冊（1クラスの児童生徒数＋教員用2冊）×9学年×20エリア×2作品） ○学校での活用 ・国語の授業において一冊を読み通すための読書指導（読み方のポイント説明、感想の交流等） ・巡回と併せて、家庭において「親子読書週間」を設定 ・さらに、図書館利用の指導と県立図書館等の利用カード作成 2 教員研修について ○ブロック別巡回読書推進研修会の開催 県内5か所（対象：小中学校教員）												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						19,135	9,967					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	月に一冊も本を読まない 児童の割合（%）	(目標) 実績	18.8	17.6	15.8				平成31年度までに10%以下を目指す			
活動指標	セットの貸出学校数	(目標) 実績				(268)	(268)	(268)	小学校194、中学校74			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	19,135				19,135	事業実施方法	直営					
						補助率						

## 事業評価

事業名	良書学校巡回子ども読書推進事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書が好き」な児童・生徒の割合が全国に比べて低い                  読書が好きな割合 小学校 H26 71.0% (全国73.0%) ⇒ H27 71.5% (全国72.8%)                                        中学校 H26 68.5% (全国69.4%) ⇒ H27 66.0% (全国67.9%)</li> <li>・県内の全小中学校で全校一斉読書が実施されているが、選書は児童生徒個人の能力に任されており、読む本を選べない子や、ライトノベル等の軽くて刺激的な本しか読めない子は、良書に会う機会がない。</li> <li>・学校の授業では、教科書の教材文を活用して読解力等の基礎学力を育成しているが、一人一人の主体的な読書につなげる指導が不十分である。</li> </ul>							
[受益者] 小学校・中学校の児童・生徒				[想定される受益者数]			
他県の状況	—	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)	市町との連携状況	・県内5ブロックで、小中学校、市町教育委員会、市町立図書館との連絡会を開催				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 「白川文字学」普及・研究促進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課		課長名	渡辺利章
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 福井から人材育成 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]									
[事業目的]												
白川文字学を活用した本県独自の漢字学習を学校において実践普及するとともに、全国の漢字教育をリードする拠点として、漢字教育に係る優れた事例や研究成果を県外へ発信し、白川文字学の普及促進を図る。												
[事業内容]												
1 白川文静博士没後10年特別企画 ○「白川文字学の室」のリニューアル 全国唯一の白川文字学展示室として、実物を活かした展示を充実 ○白川静没後10年 白川文字学フォーラム（仮称）の実施 ○第4回「白川静漢字教育賞」の開催 <関連企画>高校生による書道パフォーマンスおよび書道DVDの制作 2 教員の指導力向上と白川文字学の普及 ○指導力、授業内容の向上 漢字指導者の養成、児童用副読本の配布等 ○県内外での発信 出前授業の実施												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		2,000	6,942	8,598	10,793	20,479	10,793	10,793	「白川文字学の室」リニューアルに伴う増			
2月現計予算額の推移		2,000	6,942	8,698	10,887							
決算額の推移		1,595	6,610	8,192								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「白川文字学の室」入室者数	(目標) 実績	11,925	10,855	10,563				平成31年度までに2万人を目指す			
活動指標	漢字学習講座等への参加者数	(目標) 実績	2,744	3,350	3,833							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	20,479				20,479	事業実施方法		直営				
						補助率						

## 事業評価

事業名	「白川文字学」普及・研究促進事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺利章
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>・「白川文字学の室」は、白川博士の功績を知り、白川文字学について学べる場となっているが、開設して10年を迎えるにあたり、展示内容等を見直す時期に来ている。白川静博士没後10年を機に、白川氏の研究に関わる実物資料の収集・展示を実施する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
児童・生徒、広く一般県民							
他県の状況	県独自の漢字教材を使用している事例はない。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	事業名			
			(実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	市町との連携状況	白川文字学に関する出前講座を公民館で実施				
	事業名 (役割分担)						
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
漢字学習講座等への参加者数は増加しているが、「白川文字学の室」入室者数は減少傾向である。		白川静博士没後10年を契機として、白川氏の研究に関わる実物資料を収集するとともに、「白川文字学の室」のリニューアルを行い、展示を充実する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## ふるさと文学館費

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺 利章	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠 ビジョン	[ 元気な県政 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ 教育振興基本計画 ]									
[事業目的]												
福井ゆかりの作家の著作等を収集し、県民が郷土文学に触れることで、文学に対する意識の高揚や文芸活動の活発化を図る												
[事業内容]												
1 福井ゆかりの作家・作品に関する資料収集および調査研究 2 企画展の開催、常設展示の更新 3 各種イベントの開催や、創作活動の支援（教育普及活動） 4 館の管理運営												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		10,550	32,600	596,217	43,700	45,023	45,023	45,023	H25 基本設計、実施設計 H26 建築改修工事、展示工事 H27.2.1 ふるさと文学館開館			
2月現計予算額の推移		10,550	59,549	544,355	43,765							
決算額の推移		10,469	57,965	528,139								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	入館者数	(目標)			(70,000)	(70,000)	(70,000)	(70,000)				
		実績		21,320								
活動指標	企画展の開催回数	(目標)		(1)	(3)	(3)						
		実績		1								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	45,023			744	44,279	事業実施方法	直営					
						補助率						

## 事業評価

事業名	ふるさと文学館費	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺 利章
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>福井ゆかりの作家や福井が登場する文学作品に関する資料を収集、保存し福井の文学を伝承するとともに、それらをわかりやすく展示し福井の文学の魅力を紹介することで、福井の歴史や風土、新たな魅力を再認識してもらい、さらに郷土への理解を深めることを促進する。さらに、講演会や講座などを行うことにより、県民の文芸活動を支援し交流できる機会を提供する。</p>							
[受益者] 一般県民				[想定される受益者数]			
他県の状況	高志の国文学館(富山県)、世田谷文学館(東京都世田谷区)では、企画展の工夫や著名作家の講演会などにより、利用者増につなげている。	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	広報面で県内の文学館施設と連携し、文学館開設や文学への興味関心を高めた。				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
H27.2.1 県立図書館内にふるさと文学館を開館し、開館記念特別展を開催した。		—		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 青少年体験活動施設整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺 利章	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ 元気な県政 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H24 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策	[ 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
			[ 教育振興基本計画 ]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
心身ともに健全な青少年の育成を図るため、築48年を経過し老朽化した「県立芦原青年の家」を移転整備する。												
[事業内容]												
<p>1 設置場所 あわら市北潟11字中の河戸地係</p> <p>2 敷地面積 50,691㎡</p> <p>3 建物概要 (1) 構造 鉄筋コンクリート2階 (2) 宿泊 120名(定員) (3) 面積 延床3,966.65㎡</p> <p>4 プログラム (1) 青年の家周辺の自然(北潟湖等)や施設を活かした体験活動 (2) 地域資源や人材を活用したふるさとを知る体験活動 (3) 思考力や精神力等を徹底的に鍛える体験活動</p> <p style="text-align: right;">カヌー体験教室、カヌー&amp;サイクリング、星空観察、水質・水生調査 北前船等地域学習、北潟丘陵地農業体験、北潟湖冬の水鳥観察 30km競歩、座禅体験、冬空キャンプ、発展・応用サイエンス教室</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		4,410	25,003	190,368	1,796,723	227,792	74,597		H24 基本計画 H25 基本設計、丈量測量			
2月現計予算額の推移		4,410	25,003	190,368	1,794,585				H26 実施設計、工事 H27 工事			
決算額の推移		4,410	25,003	190,368					H28 工事、解体設計、開所式 H29 解体工事			
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								平成28年7月リニューアルオープンを目指す			
活動指標	(目標) 実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	227,792		123,000		104,792	事業実施方法		直営				
						補助率						

## 事業評価

事業名	青少年体験活動施設整備事業	部局名	教育庁	課名	生涯学習・文化財課	課長名	渡辺 利章	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>1 施設老朽化 昭和41年に設置以来、管理棟やキャンプ場等の施設老朽化のため体験活動に支障が生じてきた。</p> <p>2 地域資源を活用した施設整備 北潟湖や丘陵地等を活かしたカヌーや農業体験など新たなプログラムの開発に相応した施設として、また、サイエンスなどニーズに対応した施設とする。</p>								
<p>[受益者]</p> <p>児童生徒のほか家族など各種団体</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>宿泊利用者数 3,651人 (H28年度)</p>				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 芦原青年の家管理費 (役割分担)  本事業は整備事業(解体を含む)のため、施設整備に伴う維持管理経費を管理費において計上			市町との連携状況	1 整備敷地の借受 あわら市から敷地を無償提供 2 関連事業の実施 あわら市道の整備のほか、当施設駐車場工事を実施			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
H27年度 建築工事に着手		—			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	